



春休み子ども居場所プログラム 近隣商店街で学習支援



2013年3月25日～3月29日の日程で、YMCA 石巻支援センターから徒歩5分の仮設商店街集会所にて、春休み子どもの居場所プログラム「立町いしのまきっこ広場」を行いました。5日間、午前・午後それぞれ2時間半のプログラムで、ボランティアが、子どもの勉強指導と、レクリエーションを行いました。5日間で市内5つの小学校から延べ190人の子どもたちが参加をし、東京YMCA ユースリーダーや山手学舎学生、学生YMCAなど12人のボランティア・スタッフが関わりました。

石巻市立石巻小学校の校長先生や保護者からぜひ今後とも長期休み中の学習支援・遊び場作りを行ってほしいと要望があり、昨年夏に引き続きこの春も同じ場所での開催となりました。

子どもたちは勉強で分からない箇所があれば、YMCAのボランティアに教えてもらいます。また、集中力が続かない子どもがいれば、ボランティアが側にいて声かけをし、なんとか決められた課題を終えられるようサポートをします。また、遊びの時間では、近所の公園で体を使って遊んだり、部屋の中で工作やお菓子作りをしてボランティアのお兄さんお姉さんと楽しい



ある日の記念写真。工作の時間で作ったものを持って、ハイチーズ！

時間を過ごしました。

商店街での学習支援の開催は2回目ですが、近隣小学校とは夏休み中のプール開放日にリーダを派遣して水泳指導を行ったり、YMCA 石巻支援センターで学習支援やクリスマス会などのレクリエーションを行なったりしていたので、今回のプログラムを楽しみにしていた子どもたちや、YMCAの活動に期待してくださっていた保護者も多く、申し込みの時点で「本当に助かります。今回もよろしくお願いします」と声をかけてくださった家庭が多くありました。

後日、プログラムに参加した保護者と時間をかけてお話する機会がありました。その家庭は両親は共働きで忙しく、夏休みの長期休みは、子どもは連日学校のプールに行き行って遊んでいたそうですが、春休みは近隣に遊び場がないので、特に1年生の小さな子どもは家にこもりがちとの事でした。石巻小学校の通学区域である中瀬地区には震災前は公園がありましたが、震災後は地盤沈下により満潮時は川の水が冠水するので子どもが近づくには危険な状態が続いています。

市内学童でも、長期休み中は学校施設や近隣の遊び場が使えず、子どもは一日中建物の中にいる状況が続いています。石巻市では復興公営住宅の建設が始まりましたが、子どもたちが安全に楽しく遊べる場所づくりはまだ見通しがたちません。



勉強の時間。みんなで集中して頑張れるように、お約束を確認して始めます



みんなのおやつ作りを頑張る1年生の女の子

東日本大震災復興支援活動募金

・ゆうちょ銀行(郵便振替)

振替口座:00120-7-714728

名義:公益財団法人 東京 Y M C A 会員事務局

・銀行振り込み

みずほ銀行 神田支店 普通 1677931

三井住友銀行神田支店 普通 7656469

名義:公益財団法人 東京 Y M C A

※「東日本大震災」とお書き添えください。